

コケイラン

Oreorchis patens

ラン科



コケイラン

名前の由来

ケイランの「ケイ(蕙)」は、シランまたはガンゼキランの類を指しており、それと葉が似ているが花が小さいのでつけた名前。ランは漢名「蘭」の音読み。漢字名：小蕙蘭

形態的特徴

高さ30~40cm。葉は細長く根元から1~2枚出る。茎上部に多くの花が斜め上向きにつく。花は黄褐色、がく片と側花弁は披針形で、下方に突出する唇弁は白色で斑点があり、基部から3裂する。

生育環境・分布

低地~山地のやや湿った、腐植土の多い林内に生育する。
分布：国外分布は、南千島・カムチャツカ・樺太・朝鮮・ウスリー・中国東北部。
国内分布は、北海道から九州。
北海道内分布は、全道。
十勝地方では、低地~山地のやや湿った林内で見られる。

生活史

開花時期：6~7月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

- 葉の茎部はふくらんで球根状になり、古い偽球が横に連なってシュードバルブと称されて、ここに養分が貯蔵される。
- 葉は暗い所でも十分に作用する常緑葉であり、そのためコケイランは暗い場所でも生育することができる。

配慮事項

生育している環境全体が重要である。

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期				■								

類似種：特にない。



コケイラン (上・右とも)



魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ
ウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ

参考文献

「改訂版 牧野新日本植物圖鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅰ」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「山の植物誌」大場達之 山と溪谷社 2000

「図説 花と樹の大事典」木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗 柏書房 1996